

## 学習シラバス 芸術科

科目名	単位数	学科・学年・類型
音楽 I	2	普通科・第 1 学年

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1 音楽的感性・技能を身に付け、音楽の生み出す曲想やリズムなどの美しさを感じ取りながら、自己表現能力を養います。</p> <p>2 音楽に対する興味・関心を深め、意欲的に音楽活動に取り組む態度を身に付け、生涯学習につながる基礎を学びます。</p>
使用教科書・副教材等	改訂版 高校生の音楽 1 (音楽之友社)

### 2 学習計画及び評価方法等

#### (1) 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲
1 学 期	<オリエンテーション> 「校歌」 【歌唱と合唱 1】 「翼をください」 「花は咲く」 「ホールニューワールド」他  「0 sole mio」 「Caro mio ben」 他	4	1年間の音楽の授業内容や、授業を受ける上での注意点などについて説明します。	1 学 期 末 考 査
		5	発声のメカニズムについて理解し、伸びやかな美しい歌声で校歌などを2部合唱します。また、歌詞の意味を正しく理解し、曲想を考え、表現に反映させます。	
	6	平易な混声3部合唱曲を歌い、合唱する喜びと美しいハーモニーを味わいます。		
	7	西洋音楽の歴史を学習し、各時代の名曲を鑑賞します。人はなぜ音楽をするのかについても考察し、音楽の楽しさだけでなく、その役割についても理解します。		
	【課題・提出物等】 ノート提出		鑑賞曲について感想をノートにまとめて提出します。	
	【1学期の評価方法】 校歌・歌曲「Caro mio ben」の歌唱テスト、ノート記録、学習活動への取り組み態度等で評価			
2 学 期	【歌唱と合唱 2】 「少年時代」 「春への憧れ」 「野ばら」(ヴェルナー) 「川」(シューベルト) 「小さい秋みつけた」 「ダニー・ボーイ」 他	8	1学期をふまえ、更に歌唱表現の技能向上を目指します。また、世界各国の歌曲を原語で歌うことにより、その国の人々の心情にもふれます。	2 学 期 末 考 査
		9	ア・カペラ混声合唱に挑戦し、美しいハーモニーを体感します。ことばの意味を深く考えた表現方法についても工夫します。	
	10	古典派から現代までの音楽史の流れを理解し、代表的な名曲を鑑賞します。		
	11	作曲家の生涯や特徴の学習により、より深い感動を伴った鑑賞活動を行います。また、作品・演奏に対して根拠を持った客観的な感想文の記述を目指します。		
	【西洋音楽史と鑑賞 2】 (4) 古典派の音楽 モーツァルト他 (5) ロマン派の音楽 ショパン他 (6) 近・現代の音楽 ドビュッシー他 【歌唱と合唱 3】 「クリスマスソング」	12		

2 学 期	【課題・提出物等】 ノート提出		
	【2学期の評価方法】 期末考査、ノート記録、学習活動への取り組み態度等で評価		
3 学 期	【日本の音楽】 「浜辺の歌」 「待ちぼうけ」 「小さな空」他	1	日本の音楽に親しむと共に、その美しさや特徴を理解します。また、日本音楽史についても、国民として基本的な事柄を学習します。日本の古典芸能や芸術音楽も鑑賞します。 民族楽器の実習を通して、人と音楽のかかわりについて考察します。
	【劇音楽】 ミュージカルナンバー 「一晩中踊れたら」他	2	オペラやミュージカルの学習をとおして、劇音楽の楽しさや魅力を理解し、生涯音楽を愛好する心情を育成します。
		3	
【課題・提出物等】 ノート提出			
【3学期の評価方法】 ノート記録、学習活動への取り組み態度等で評価			
【学年末の評価方法】 1～3学期の平均点を算出する。			
確かな学力を身に付けるためのアドバイス		<ul style="list-style-type: none"> <li>立派な人格を形成するには、幅広い知識の吸収と豊かな感性を磨くことが大切です。どちらが欠けていても、バランスの悪い偏った人格となってしまいます。感性を学ぶ教科として芸術の科目があります。音楽の授業をとおして豊かな感性を身に付けましょう。</li> <li>音楽の授業は、積極的に活動しなければ充実感を味わうことはできません。みんなで歌ったり、グループで演奏したり、一緒に考え、工夫しながらより良い音楽を創造していく姿勢が大切です。一人では得られない喜びや満足感、そして、自己を表現することから、やがて大きな成長へとつながっていくはずです。</li> </ul>	
授業を受けるに当たって守ってほしい事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>2時間連続授業です。基本的に1時間目は表現活動、2時間目は鑑賞活動を実施します。</li> <li>教室移動を早くして、チャイムとともに開始しましょう。</li> <li>忘れ物をした場合は事前に申し出てください。</li> <li>実技教科は授業中の取り組みが大きく評価されます。授業への積極的な参加が特に大切です。</li> </ul>	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽に対して積極的な態度取り組み、幅広いジャンルの音楽に対して興味・関心を高めているか。</li> <li>表現や鑑賞・技能の習得に対し、意欲的・主体的に、その喜びを味わおうとしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>実技テスト</li> <li>期末考査</li> <li>鑑賞ノートのまとめ方</li> </ul>
音楽表現の創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創造的に表現しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実技テスト</li> </ul>
音楽表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な楽典の知識や、既習曲への理解ができているか。</li> <li>音楽史について理解できているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>期末考査</li> <li>鑑賞ノートのまとめ方</li> </ul>
鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な音楽に興味・関心を持ち、その良さや美しさを深く味わっているか。</li> <li>鑑賞教材の演奏法・楽器の特徴・構造を理解し、聞き取っているか。</li> <li>音楽の文化的背景を充分理解し、楽曲を聴き取っているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への参加の仕方や鑑賞態度</li> <li>鑑賞ノートのまとめ方</li> <li>根拠をもって作品を批評し、的確な文章表現で記述できているか。</li> </ul>